

## 3つのワクワク体験 那須の子ども塾・冬

12月20日、4公民館共催事業「那須のこども塾・冬」が開催され、町内の小学生38人が参加し、①「ツリークライミング体験」②「クリスマスツリーを作ろう！」③「ハンドベルミニコンサート」の3つのワクワク体験を楽しみました。



▲木に登る楽しさと、支えてくれる木の力強さを感じました

▶木片をボンドで貼付けし、ナチュラなもみの木のように。トップにはデコレーションしたキラキラ星をかざりました



▶クリスマスにちなんだ曲の演奏。美しいベルの響きに聞き惚れました



## 発表に工夫と楽しさを



12月18日、那須中央中中学校公開が行われ、1年生は、総合的な学習での「那須町のデジタル観光情報誌」制作のため、町の魅力について調べたことを、保護者を前に発表しました。

「レジャー」「温泉」「歴史」「自然」などをテーマに、実際に施設や現地に行って調べたことや分かったこと、施設の方に教えてもらったことなどを、タブレットを使用し、現地の写真やイラストを見せたり、感じたことを話したりしながら発表しました。

「歴史」をテーマに「那須七騎」を調べた大森惇裕じゆんぎゆうさんは、「みんながよく知らないと思って那須七騎馬を調べました。楽しく、興味を持って聞いてもらおうと、クイズを出しながら発表することにしました」と、工夫を凝らした発表を見せました。

## 学校運営に生徒も参加

12月16日、那須中央中学校の第4回学校運営協議会（熟議②）が行われました。学校評価の考察の発表では、生徒からの考察として、後期生徒会2年の大嶽昌城さんが、前期より評価が上がった項目の1つ「授業で考えを発表したり、他者の意見や考えを比較し、協力しながら取り組むことができた」の要因を、タブレットの導入とグループワークを多く取り入れたことだと思えますと述べました。

また、熟議（テーマ「本校の良さをさらに伸ばしていくために」）では、PTAの5つの専門部会と生徒会の10の専門委員会が教養部（学習・図書）、厚生部（給食・保健）、事業部（環境・福祉）、広報部（放送・国際）の5つに分かれ、班ごとに、7月に行った熟議①からの取り組み、成果と課題をそれぞれの立場から振り返り、協議しました。

